

## 焼セッコウ

Exsiccated Gypsum

焼石膏

本品はほぼ  $\text{CaSO}_4 \cdot \frac{1}{2} \text{H}_2\text{O}$  の組成を有する。

性状 本品は白色～灰白色の粉末で、におい及び味はない。

本品は水に溶けにくく、エタノール (95) にほとんど溶けない。

本品を空气中に放置するとき、徐々に水分を吸収して固結性を失う。

本品を 200 °C 以上に加熱して無水物とするとき、固結性を失う。

確認試験 本品 1 g に水 20 mL を加え、5 分間振り混ぜた後、ろ過する。ろ液はカルシウム塩の定性反応 (2) 及び (3) 並びに硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験 アルカリ 本品 3.0 g を共栓試験管にとり、水 10 mL 及びフェノールフタレイン試液 1 滴を加えて激しく振り混ぜるとき、液は赤色を呈しない。

固結試験 本品 10.0 g に水 10 mL を加え、直ちに 3 分間かき混ぜて放置するとき、指で押さえても水分がでなくなるまでに要する時間は、初めに水を加えたときから 10 分間以内である。

貯法 容器 気密容器。

## セネガ

Senega

SENEGAE RADIX

本品はセネガ *Polygala senega* Linné 又はヒロハセネガ *Polygala senega* Linné var. *latifolia* Torrey et Gray (*Polygalaceae*) の根である。

性状 本品は細長い円すい形を呈し、多くは分枝し、長さ 3 ～ 10 cm、主根の径は 0.5 ～ 1.5 cm である。外面は淡灰褐色～灰褐色を呈し、多くの縦じわがあり、ときにはねじれた隆起線がある。根頭部は塊状で、茎の残基及び赤色の芽を付けることがある。分枝した側根はねじれて屈曲する。横切面の皮部は灰褐色、木部は類黄白色で、通例、円形であるが、ときにはくさび形～半円形に欠け込み、その反対側の皮部は厚くなる。

本品はサリチル酸メチルのような特異なおいがあり、味は初め甘く、後にえぐい。

本品の横切面を鏡検するとき、主根部ではコルク層は数層の淡褐色のコルク細胞からなり、二次皮部は一～三列の放射組織をはさんで柔細胞及び師管からなる。木部の放射組織は明瞭ではない。本品の柔細胞は油滴状の内容物を含むが、でんぷん粒及びシュウ酸カルシウムの結晶を含まない。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g に水 10 mL を加え、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品の粉末 0.5 g に水 30 mL を加えて 15 分間振り混ぜた後、ろ過する。ろ液 1 mL に水 50 mL を混和した液につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定するとき、波長 317 nm 付近に吸収の極大を示す。

純度試験

(1) 茎 本品は茎 2.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は茎以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

乾燥減量 13.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 5.0 % 以下。

酸不溶性灰分 2.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 30.0 % 以上。

## セネガ末

Powdered Senega

SENEGAE RADIX PULVERATA

本品は「セネガ」を粉末としたものである。

性状 本品は淡褐色を呈し、サリチル酸メチルのような特異なおいがあり、味は初め甘く、後にえぐい。

本品を鏡検するとき、孔紋及び網紋道管の破片、仮道管の破片、斜めの膜孔のある木部繊維の破片、単膜孔のある木部柔細胞の破片、油滴状の内容物を含む師部柔組織の破片、しばしば膜がコルク化して娘細胞に分かれた外皮の破片を認める。油滴状の内容物はズダンⅢ試液で赤く染まる。本品の柔細胞はでんぷん粒及びシュウ酸カルシウムの結晶を含まない。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 10 mL を加え、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品 0.5 g に水 30 mL を加えて 15 分間振り混ぜた後、ろ過する。ろ液 1 mL に水 50 mL を混和した液につき、紫外可視吸光度測定法により吸収スペクトルを測定するとき、波長 317 nm 付近に吸収の極大を示す。

純度試験 異物 本品を鏡検するとき、石細胞、でんぷん粒又はシュウ酸カルシウムの結晶を認めない。

乾燥減量 13.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 5.0 % 以下。

酸不溶性灰分 2.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 30.0 % 以上。

## セネガシロップ

Senega Syrup

製法

セネガ、中切	40 g
白糖	780 g
10 vol% エタノール	適量
精製水	適量
全量	1000 mL

「セネガ」に 10 vol% エタノール 400 mL を加え、1 ～ 2 日間浸漬し、浸出液をろ過し、残留物に更に 10 vol% エタノール少量ずつを加えて洗い、洗液はろ過してろ液に合わせ、全量を約 500 mL とし、これに「白糖」を加え、必要ならば加温して溶かし、更に「精製水」を加え、1000 mL として製する。ただし、10 vol% エタノールの代わりに「エタノール」及び「精製水」適量を用いて製することができる。